

No.3-2006

平成18年3月31日発行

## 3月例会をふりかえって



むべき課題として、当事者意識を持つことができました。個人的な感想にはなりますが、“この講演を未来の自社の経営に役立てることが可能でもあった”と、感じております。

同じ内容の講演を聴いても、その解釈は各人により異なりますが、出席された皆様は如何でしたでしょうか？

本年度は初理事ということもあり、予定者会議の年間事業計画から本例会の実施まで、紆余曲折の毎日でした。

去る3月22日に、3月例会が秋田キャッスルホテルで開催されました。今回のテーマはJCニュース2月号でご案内を致しましたように「商業道徳を再確認し、未来の自社を描こう」でした。

昨今の報道では、“企業の社会責任が・・・”等と

等、数え切れない質問を戴きました。本例会については、このような理事の方々の質問に応えることができたのではないかと、個人的には考えています。趣旨を僅か数行に凝縮し、表現することの難しさをつくづく味わっています。

本例会の実現に向け、担当の荻原常任理事、進藤副理事長を始め、ご支援、ご指導、ご協力を戴きました理事の方々、そして委員会メンバーに感謝を致しまして、筆を置きたいと思えます。有難うございました。今後もオープン委員会、があります。宜しくお願いします。

会員研修委員会 委員長 正木 大一



という言葉が非常によく聞かれます。無論、私たち自身、やって良いこと、悪いことの判断はつきません。ところが“なぜ、その社会責任を果たしきれない企業があるのでしょうか？”、また“実践していくためにはどのような経営を心掛ければ良いのでしょうか？”。今回は、このような疑問に答えて戴いた例会になりました。また、例会前の事前勉強として、高先生が用意して下さったレジュメ、そして、その内容をより深く、理解しやすく執筆された先生の著書により、自社の取り組



## 『第26回サケの稚魚放流事業』のご案内

来る4月15日(土)10:00より添川字飛鳥田の河川敷公園において「第26回サケの稚魚放流事業」を開催いたします。今年も秋田市クリーンアップ作戦の協力事業として、秋田市のご協力のもとサケの稚魚8万尾を放流する事になりました。今年も秋田市立旭

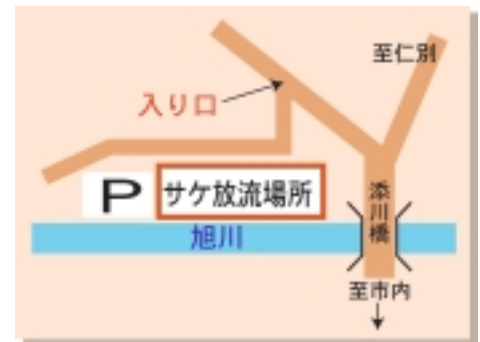
川小学校の児童達による地域環境についての研究発表もごさいます。

当日は子供達の夢をのせ、4年後に稚魚が成魚となって戻ってくる事を願いつつ実施致しますので、何卒皆様お誘い合わせの上ご参加を戴けますよう宜しくお願い申し上げます。

\*放流に参加される方はバケツ・長靴をご用意下さい。

\*小学生以下の方は保護者同伴でご参加下さい。

環境行動推進委員会 委員長 松本 繁



## TOYP2006あきた人間力大賞

今年も人間力大賞応募の季節がやってきました(4/1~5/31)。人間力大賞がリニューアルされて3年目を迎え、本年は「付加価値をつけるためにどうするか」といった部分をテーマに研究会を立ち上げ、できる部分はどんどん反映していく“進化した人間力大賞運営”を目指しています。

人間力大賞って何? という方がいたらJCIのホームページをご覧ください。今年も情報戦略推進委員会の方々が私達委員会のためにすばらしい宣伝をしてくれています。整備中の部分もありますが、「TOYPとは」「歴代受賞者は」「応募するためには」などなど解りやすく掲載してあります。

そしてあなたの近くの「街づくり・人づくり」に尽力している“傑出した若者”を紹介してください。共に学び、夢を育もうではありませんか!

人間力大賞運営委員会 委員長 国安 忍



## 日本青年会議所 東北地区 秋田ブロック協議会 第2回アカデミー委員会

秋田ブロック協議会 アカ



3月18日(土)ユースパルにて「秋田ブロック協議会 第2回アカデミー委員会」が開催されました。(当LOMより加賀屋久人君、佐々木創一君、米村徹君が出向しています。)第1回目の委員会は各LOMのメンバーが初めて集まり、とても緊張した中で行われましたが、今回2回目と言う事で気持ちの上で少しは余裕を持って出席したつもりでした。しかしユースパ

ルに着くなり、緊張している自分を感じましたが、委員会メンバーと挨拶を交わす内に落ち着いてきました。

委員会では、最初にJCについてのテストを行い、結果は思った以上に点数が取れず反省しております。

次にソーシャルスタイル理論を行いました。JCスクールや前年度の委員会でも行いましたが、今回違う結果になり考える事が出来ました。

最後にブレイクスループログラム・企業再建ゲームを行い、委員会メンバーが入り混じってのゲームでしたが、皆が活発に意見等を出し合っていたので、有意義な内容になったと思いますし、メンバー同志の交流にも繋がったのではないかと思います。

たった1年間のメンバーですが、同期の絆を深め、後々の自分の糧に成る様にがんばりたいと思います。そして、この委員会に出向させて戴いた事に感謝します。

秋田ブロック協議会 アカデミー委員会  
(魅力あるあきた推進委員会 運営幹事) 米村 徹

## メンバーいろいろな趣味紹介

### 「ビリヤード」

学生時代からの趣味ですが、ビリヤードをやっております。友達と一緒にに行く事が普通だと思いますが、「うまくするにはひとりで練習したほうが良い。」というアドバイスを受け、ひとりででもビリヤード場に足を運ぶようになりました。店員さんとも仲良くなると、技術の指導をしてもらったり、対戦したりすることも出来るようになります。

友人にキューをもらったのがきっかけで本格的に始めたのですが、なかなか上達しませんでした。始めは次の球を落とす事を目標にしていたのですが、「考えてや

らないとうまくならないよ。」とアドバイスを受けました。二手、三手先まで考えて、的球を落とすだけではなく、手玉をどこに持ってくるかが大事になるということでした。そのためには球に回転をかけたり、クッションを利用したり、様々な技術が必要となるということで、まずは練習あるのみという感じでした。

ビリヤードはやればやるほど面白くなる奥の深いスポーツで、緻密な計算と集中力を必要としますので、ゲームに没頭することが出来ます。気分転換にはもってこいです。

組織進化推進委員会 運営幹事 進藤 史明

## 同好会紹介 野球同好会

王JAPAN世界一。選抜高校野球の開幕。そしてプロ野球の開幕・・・雪はすっかりなくなり、野球が話題の中心となる季節となりました。我が野球同好会は昨年もブロック野球大会で優勝し、二連覇中。もち



ろん今年も優勝狙っています。昨年は準決勝で由利本荘JCに対して最終回の大逆転サヨナラ劇を演じ、二連覇を果たすことができたわけですが、東北大会では惨敗。何か充実感を得ることができ

ないままシーズンを終えてしまいました。

今年は初心にかえり、「野球を楽しむ」というのをテーマとして、今シーズンは取り組んでいきたいと思えます。今年には郡山で全国大会が開催されます。せっかくの東北開催。逃すわけにはいきません。でも、勝利だけにとらわれることなく同好会会員全員でまず野球を楽しみ、そして、その後にはすがすがしい気持ちで全国大会にのぞみたいと思えます。同好会会員一同で今年には野球ができる喜びを再認識したいと思えます。初心者の方大歓迎。もちろん経験者も大歓迎。入会希望の方はお近くの野球同好会会員まで・・・

野球同好会 田口 正人

## 同好会紹介 ノーサイドクラブ

熱き闘争本能を持った男たちが集まる『ノーサイドクラブ』は秋田J.Cのラグビー同好会です。現役、OB含め32名が在籍しております。未経験者の方も多くいるので体力に自身のある方、あこがれていた方は是非参加して下さい。一見危ないスポーツと思われるがちですが、そんなことはありません。

試合中はアドレナリンが大量に分泌して痛さを忘れさせてくれます。風呂に入るとどこが痛いかわかります。是非お試しを。

本年は5月14日に川崎にて日本青年会議所ノーサイドクラブ全国大会が開催されます。

今年の目標（個人的なものです）は三年前に開催した秋田大会以来の一勝とけが人を出さないこと、そして懇親会での『筋

肉番付』の優勝チームとしてのディフェンディングです（自分はやりません）。この目標を達成するため水曜日と日曜日に練習をしていますので、遊びに来てください。差し入れ大歓迎です。

ノーサイドクラブ 幹事長 鈴木 充



## 「地域への誇りが、まちづくりの原動力」

～魅力あるあきたのまちづくりを目指して～

平成18年4月12日（水）18：30より秋田キャッスルホテルにおいて4月例会を開催致します。これからのまちづくりは「地域と市民のパワー」を活かすことがキーワードであり、そのパワーの源は「地域への誇り」であると考えます。

本例会では、秋田の歴史や先人達の偉業によって培われた「秋田の風土」の魅力をご講演戴き、会員の秋田に対する誇りを養うとともに「高清水地域」等の歴史や史跡資源を活用し「秋田の風土」を活かした市民協働のまちづくり事業展開の礎となる機会と致します。

魅力あるあきた推進委員会 委員長 工藤 浩一

### 「4月例会」

日時 平成18年4月12日（水）18：30～  
 会場 秋田キャッスルホテル 4階 放光の間  
 講師 佐々木 久春（ささき ひさはる）氏  
 テーマ 「地域への誇りが、まちづくりの原動力」  
 ～魅力あるあきたのまちづくりを目指して～

## 編集後記

6年ぶりにJCニュースの編集に関わることとなり、忘れていた事を一生懸命に掘り起こしたり、新しいことにもチャレンジしながら、今月号も発行の日をなんとか無事に迎えました。これからLOM内外のJC運動・活動が本格的に始まるかとしています、我々も微力

ながら力の限り、JC運動・活動に関わったメンバーの想いを発信したいと思えます。皆様の御協力をお願いします。

情報戦略推進委員会  
 いつのまにかラストイヤー 松本 大